

田中・大塚新体制が始動

田中理事長・大塚総長の新体制が創立125周年、8年後の130周年へ向けた改革へスタートを切った。第13代の大塚吉兵衛新総長が9月1日就任、役員改選を受けた初の理事会が9月10日開催され、理事長に田中英壽氏を再選任した。また常務理事は、130周年記念募金担当も兼ねる石井進氏ら6人体制となった。理事会後の臨時評議員会では理事長・総長一体となって、盤石の財政基盤の確立と日本一の教育力実現を強く訴えた。

田中理事長を再選

理事会は、仮議長に大塚総長を選んだあと「学校法人日本大学理事長選任に関する件」からスタ

ート。寄附行為第8条第1項の「理事のうち1人は、理事の互選によって理事長となる」の規定に

従って別室で開いた選考委員会が田中理事の推薦を決定。これを満場一致

で了承、理事長に再選任した。

このあと、田中理事長が議長となって、理事長推薦のあった成澤文明、坂下正則の両評議員を理事に承認。これで理事会は30人体制となった。さらに理事長の推薦で小野沢元久理事を理事長代理・代行者に決定。常務理事の選任も理事長から推薦された6氏の就任を

承認した。

常務理事と分担は次の通り。

田中範男（総務）、板橋文男（財務）、成澤文明（人事、含む男女共同参画）、古屋尚（管財、含む日本大学事業部連携支援オフィス）、高松雄行（広報、含む日本大学新聞社）、石井進（大学院、含む法務研究科及び130周年記念募金）